

健全で豊かな森林づくりプロジェクト フォローアップ委員会 自己評価シート

プラン名	林建協働プロジェクト			作成日	23年	11月	11日
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> JV	所属	たかやま林業・建設業協同組合	記入者	松本康司	
プロジェクトの対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）					
	高山市清見町牧ヶ洞、夏厩、上小鳥地内482haの森林	区域面積の90%を占める生産林において、林齢40～50年生にありながら成立本数が1,000本/haを超える区域もあり、間伐手遅れ林分となっているため、80年生における成立本数を250本/haに設定した間伐計画に基づき、将来に渡り維持管理を要しない安定した路体による高密度路網整備と連携させながら、素材生産を進める。平行してドイツフォレストー研修会等で習得した知識を活かし、安定した森林づくり及び路網整備のモデル的な団地を目指す。					
事業期間	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）						
	林業新規参入における建設業者にとっては即戦力的な成果は望めないが、土木施工能力を活かした安定した作業道を開設し、同時に支障木処理を通じ、各種研修会を絡めながら伐倒を含めた林業技術を早期に習得する。利用間伐対象区域内路網密度100m/haを目指した路網整備と、熟練した建設機械操作からの転換による林業機械の応用により生産性の向上を図る。ホイール型の林業機械導入を検討し、土場における集中造材によるトータルのコスト削減を目指す。所有者である県及び市の協力と理解を得ながら、新たな手法による森林づくりを実践する。						
事業期間	平成 22年度 ～ 平成 26年度（ 5 年間）						
事業費 / 年度	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額（平成22年度決算） ※職員人件費を除く						
	森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	治山関係	保安林整備関係	その他	
財源内訳	予算執行額（千円）	19,825.0					
	国・県費	19,825.0					
	市町村費						
	一般財源						
	その他						
事業実績	成果指標	単位	22年度		23年度		
			計画	実績	計画	進捗	
	① 施業集約化	ha	346.0	281.0	136.0	68.0	
	② 植栽	ha	0.0	0.0	0.0	0.0	
	③ 下刈・除伐	ha	0.0	0.0	0.0	0.0	
	④ 切捨間伐	ha	0.0	0.0	60.0	22.0	
	⑤ 利用間伐	ha	0.0	0.0	21.0	3.0	
	⑥ 主伐	ha	0.0	0.0	0.0	0.0	
	⑦ 作業道開設（延長） w= 3.0 / 3.6 m	m	390 / 2,740	0 / 1,930	2,350 / 7,420	0 / 556	
	⑧ 作業道開設（開設コスト） w= 3.0 / 3.6 m	円/m	4,000 / 7,000	0 / 9,620	3,000 / 6,000	0 / 10,380	
	⑨ 木材生産量（モデル団地内）	m ³	0.0	0.0	1,680.0	164.0	
	⑩ 木材生産量（モデル団地外）	m ³	0.0	0.0	0.0	0.0	
	⑪ 木材生産性	m ³ /人日	4.3	0.0	4.5	2.0	
	⑫ 木材生産コスト（伐採～積込まで）	円/m ³	9,500.0	0.0	9,000.0	12,230.0	
	⑬ 高性能林業機械導入	台	0.0	0.0	0.0	0.0	
	⑭ 伐採専門チーム養成	チーム	16.0	1.0	16.0	1.0	
	⑮ 森林施業プランナーの育成	人	1.0	1.0	1.0	1.0	
	⑯ 地域住民への周知	回	3.0	3.0	3.0	3.0	
	⑰ プロジェクトの円滑な運営	回	4.0	7.0	3.0	2.0	
	⑱ 森プロスタッフの技術向上を図るための研修会等の開催	回	5.0	7.0	6.0	3.0	
	⑲ 研修・視察受け入れ	回	10.0	10.0	6.0	4.0	
	⑳ 高山市美しい森林づくり実行委員会研修会	回	1.0	1.0	1.0	0.0	
	(21) 濁水発生状況調査	回	4.0	4.0	4.0	4.0	
	(22) モデル団地内の巡回調査	回	10.0	10.0	20.0	10.0	
	(23)						
(24)							
(25)							
補足説明	・作業道開設については実践初年度ということもあり開設コスト低減については不十分であったが、結果として安定した路体の構築ができた。将来にわたり長く利用する作業道の初期投資の重要性や長い年月の中でコスト低減を図ることの大切さを種々の研修会で指導されており、開設コストは単純な低減ありきではないと思われる。今後は建設業の強みを活かし、さらなるコスト低減に努めつつ、恒久的に利用可能な作業道開設に取り組む。						

【 自己評価 】					
配点		3点	2点	1点	
1 達成度	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった	
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されなかった	
	補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの数値としては達成しなかったが、作業道開設において安定した路体による施工ができ、将来的にはコスト削減に繋がった。 ・ドイツフォレスター研修会で習得した将来の木施業を実践したうえで定点観測に繋がった。 			
【 委員評価 】					
コメント	・別添フォローアップシート参照				
2 成果	【 自己評価 】				
	配点		3点	2点	1点
	木材生産の拡大が図られているか	<input type="checkbox"/> 図られている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない	
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input type="checkbox"/> 一部確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 確認できない	
山地災害発生を抑止する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった		
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った利用間伐の本格着手は24年度以降に計画している。 ・森林環境保全や山地災害防止のためにも、作業道における水処理が不可欠であることの大切さと対処方法例をドイツフォレスター研修会において理解できたので、今後反映させたい。 				
【 委員評価 】					
コメント	・別添フォローアップシート参照				
3 効率性	【 自己評価 】				
	配点		3点	2点	1点
	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない	
積極的に民間活力を活用しているか	<input type="checkbox"/> 活用できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった		
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・単に1つの工事だけでコスト云々を評価するのではなく、将来に渡り安定した路網や継続的な利用間伐によりトータル的にコスト低減を図ることができることを意識した道づくりや森林づくりに努めたい。 				
【 委員評価 】					
コメント	・別添フォローアップシート参照				
4 妥当性	【 自己評価 】				
	配点		3点	2点	1点
	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適当であった	<input type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった	
期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない		
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・林建協働プロジェクトとして建設業が林業への新規参入の場として有効利用できている。建設業者が施工する作業道の質の高さを視察等で評価されており、林建協働事業のPRの場としても利用できた。今後は自らが作設した高密度路網を利用した利用間伐技術を習得し、広く林業事業完遂能力を身につけたい。 				
【 委員評価 】					
コメント	・別添フォローアップシート参照				

【 自 己 評 価 】			
配点	3点	2点	1点
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input type="checkbox"/> 向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input type="checkbox"/> 対応できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部対応できた	<input type="checkbox"/> 対応できなかった
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない
5 発展性	補足説明 ・目標林型の考え方は定性間伐の繰り返しを前提としていたが、伐倒する木を選木するのではなく将来に残す有用な木を選木するという将来の木施業におけるポジティブな発想により、夢のある森林づくりに繋げたい。		
	【 委 員 評 価 】		
コ メ ン ト	・別添フォローアップシート参照		

自 己 評 価 (集計)				
評 価 集 計	1 達成度	2 成果	3 効率性	
	5	5	6	
	4 妥当性	5 発展性	合計点	
	7	7	30	
	総合評価	B		
総合評価：A＝現状維持 B＝充実・拡大 C＝要改善 (配点区分：A＝45～36点 B＝35～26点 C＝25～15点)				
補足コメント	・真の森林づくりとは何か、何に主眼を置いて森林づくりをすべきなのか、補助金に頼らざるを得ない現実の中では制度を起案する立場の人の意識改革を望むことに改善策を求めざるをえないことが残念である。わずか5年間で成果が得られるものではないが、少しでも発展した森林づくりができるよう、信念を持って取り組みたい。			

フォローアップ委員会による総評			
推奨方針(案)	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 充実・拡大	<input type="checkbox"/> 要改善
コメント	・別添フォローアップシート参照		